

[1]



(1)

(2)

(3)

も

(4)

も

も

(5)



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(1)

(2)

ゆうがい

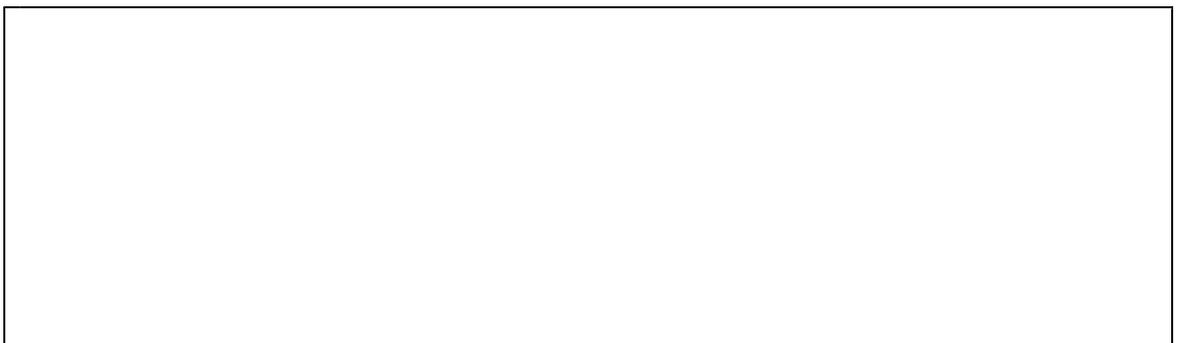
(3)

(4)

(5)

(6)

(7)



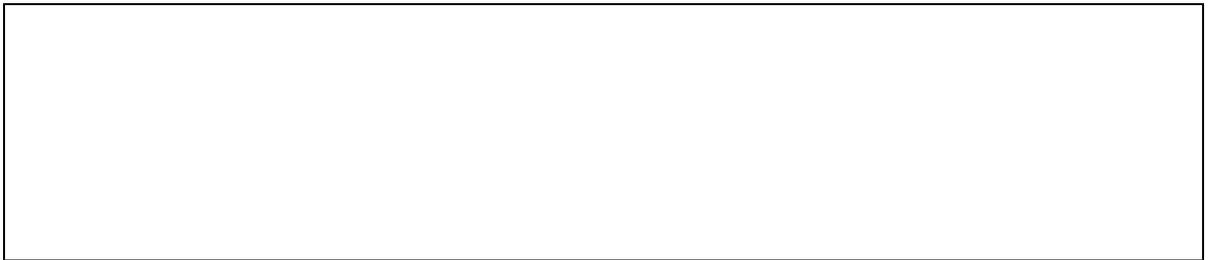
【 】

(1)

(2)

(3)

(4)



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

【3 ふぐに関する知識】

問1 次の文の（ ）の中に下記の語群から最も適当な語句を選び、その番号を解答用紙のアからオの解答欄に記入しなさい。

- (1) ふぐの（ア）は卵巣と共に毒力が強く、いかなる種類のふぐであっても、可食部位として認められていない。
- (2) 両性ふぐの（イ）は、卵巣と背中合わせや包みこむ形、あるいは融合しているものなどがあり、卵巣部分と共に有毒部分として除去しなければならない。
- (3) ふぐの（ウ）は俗に「かくしぎも」と呼ばれており、ふぐの場合、頭骨と脊椎骨の接する付近に左右一対あり、暗赤褐色を呈し、仕上げの時には十分注意して除去しなければならない。
- (4) ふぐの（エ）は「とうとうみ」と呼ばれ、毒性は皮と概ね同程度である。
- (5) （オ）は、未熟の場合は、微細な血管に富み、淡桃色を呈し、断面は空洞になっており、極小のものでも拡大して観察すると容易に判別できる。

〔語 群〕

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-------|-----|
| ①腎臓 | ②脾臓 | ③心臓 | ④皮下組織 | ⑤黒皮 |
| ⑥肝臓 | ⑦精巣 | ⑧卵巣 | ⑨筋肉 | ⑩ひれ |

問2 次の文の（ ）の中から正しいものを選び、その番号を解答用紙の解答欄に記入しなさい。

- (1) 凍結は急速凍結によることとし、できる限り内臓は除去した状態で凍結すること。凍結保管は、(①-18℃以下 ②-8℃以下 ③-3℃以下)の低温下で行い、保管中は温度の変動を少なくすること。
- (2) ふぐ毒は(①テトロドトキシン ②アフラトキシン ③サキシトキシン)と呼ばれ、一種の神経毒である。
- (3) ふぐの臓器1gで、体重20gのマウス1匹を30分で死亡させる毒量を1マウス単位(MU)といい、これを(①毒素 ②毒性 ③毒力)という。
- (4) ふぐの呼び名が原因で、部位別の毒性判断を誤ることのないように、(①地方名 ②標準和名 ③科名)を用いることが大切である。
- (5) ふぐによる中毒は、一般的にまず口唇、舌端、指先のしびれ感を訴えることが多く、平均(①24時間 ②12時間 ③2時間)前後で発症することが多い。

示したものです。下記の語群から左欄に該当する語を、右欄の「ア」～「オ」の解答欄に記入しなさい。

特徴

、大魚ではこれがとぎれて点状に白く、小魚でも白く、背びれも白い。

と側面に様々な形の小白点がある。幼魚の体にもあれば不明瞭なものもある。

しかし、外観上は背面の小棘が背びれの中央部が深く切れ込んでい

ることがあるが、概して斑紋が不明瞭である。背面及び腹面に小棘がある。背びれまで、背びれまでは達しない。

腹面に小棘がある。ひれは全